

教育課程における新聞記事活用と文章表現についての一考察 — 社会福祉教育での学科・学校種間の比較を中心に —

One Consideration about the Sentence Expression for Point and a Newspaper Article Search of the Student — Mainly on a Subject, Comparison of a Subject, the School —

(2016年3月31日受理)

松井 圭三 今井 慶宗*
Keizo Matsui Yoshimune Imai

Key words : 新聞記事, N I E, 文章表現

要 旨

短期大学保育学科・総合生活学科学生及び専門学校医療秘書科生徒について、アンケート調査し比較分析した。2種類の学校と保育系・福祉系・医療事務系の免許・資格取得を目指す3学科で学生・生徒に対し新聞についての意識調査の学校種・学科間の比較を行い、その特徴を明らかにした。感想内容の対比を通して、新聞に対するとらえ方と読解力の特徴を明らかにし、福祉教育及び新聞を用いた教育における指導上の課題について考察した。記事の選択については、総合生活学科は高齢者介護や障害者福祉に関するものが多い。障害者の生活実態や音楽療法などより身近な話題に関心をもっている。また、大部分の学生が福祉の記事を選択している。年金制度・外国人介護士など制度・政策に関する記事を選択している者は多くない。いじめなど教育に関するものもあるが、児童福祉・教育・保育に関するものは全体に占める割合が小さい。保育学科は児童福祉・教育・保育が中心であることと相違を示している。医療秘書科は記載内容から内容や概念をつかむことが困難な層が浮かび上がる。医療機関や薬局の窓口でのやり取りを念頭に回答しているものもある。法令や社会福祉や社会保険についての制度面の理解がやや弱い。感想の比較からは、学生・生徒の中には概念把握や読解力に課題がある者も少なくないことが読み取れる。学力が極めて多様化していることを踏まえ、新聞内容の読解の前段階として基礎概念を把握させることにも注力すべきである。

I. はじめに

社会福祉に関する文献として、一般の書籍や論文集と並んで広い意味で新聞を含めることが可能である。本稿は、授業において日刊新聞紙を社会福祉に関する文献として用いた実践に関する研究である。社会福祉に関する科目を教授する中で短期大学と専門学校など高等学校卒業後2年間の教育課程にある学生・生徒の関心が制度・政策に対する長期的に低下傾向にあるのではないか、その向上を図るにはどうすればよいかという問題意識のもとに行った。これまで、短期大学保育学科における学生の新聞についての意識調査の分析(平成24年)、短期大

学保育学科・総合生活学科両学科間の学生の新聞についての意識調査の比較(平成25年)を実施し、短期大学における学生の新聞についての意識や活用実態について研究してきた。これら研究で、①授業において新聞を用い、新聞を読み要約し意見を書かせるレポートを課しても、新聞が身近なものとなっていない、②幼児の生活や身近な地域に関する記事やスポーツなど親しみやすい新聞記事のみに視点が集中する傾向にある、③社会福祉に限定した場合でも的確に選択している学生ばかりではない、④社会福祉・社会保障を含め国の制度・政策に関する記事を選択する者はさらに少ないということが明らかになった。これらの結果から、法制度や政治過程に対し

*関西女子短期大学保育学科

て大学教育の中で目を向けさせることが課題と考えてきた。それらをもとに本研究は、異なる学校種（専門学校）を加え、2種類の学校と保育系・福祉系・医療事務系の免許・資格取得を目指す3学科で学生・生徒に対し新聞についての意識調査の学校種・学科間の比較を行いその特徴を明らかにするものである。これまでのこの種研究において、短期大学と専門学校を比較したものは見当たらない。ここで取りあげた3学科では、保育学科は幼稚園教諭免許状・保育士資格の取得、総合生活学科は介護職員初任者研修修了（本調査当時は訪問介護員養成研修）、医療秘書科は民間の医療事務資格取得をそれぞれ目指している。

短期大学保育学科・総合生活学科学生及び専門学校医療秘書科生徒について、アンケート調査し、比較分析した。現在新聞を読んでいるかどうか、読んでいるのであればどのくらいの時間読んでいるのか、新聞記事を読まないならば読まない理由も問うた。また、読んでいる新聞記事の種類、新聞に対する印象、新聞を利用した授業に対する意見・要望、どのような新聞であれば読むのかも質問した。これにより、高校卒業後2年間の教育段階である短期大学学生・専門学校生徒が良く読んでいる分野（好感度の高い記事）や逆に関心の薄い分野（記事）の傾向の異同が明らかとなる。また、短期大学の学生には、新聞記事の切り抜きと要約・感想のレポートを課した。このうち、総合生活学科学生に対しては福祉の記事に限定したものを1人1回課した。専門学校医療秘書科生徒には日々の授業の中で新聞記事をとりあげ感想を書かせた。アンケートとあわせ、2学科（総合生活学科と医療秘書科）の感想内容の対比を通して、新聞に対するとらえ方と読解力と文章表現の特徴を明らかにし、社会福祉教育及び新聞を用いた教育における指導上の課題について考察する。

II. 研究の概要

中国短期大学は平成23年度より、岡山県NIE推進協議会から新聞の実践指定校としての指定を受け、授業の中で新聞を教材にしている。保育学科では主に保育士・幼稚園教諭の養成を行っている。保育学科の科目「社会福祉」は保育士資格取得のための必修科目である。総合

生活学科では介護員養成のための科目「ヒューマンケア I A」があり介護保険制度を扱っている。平成24年度は、これら3科目で新聞を使った授業を展開した。まず学生に前期の授業の中で、記事の種類を問わず最低3回新聞を読ませ、読後の感想・意見、その記事を選んだ理由、新聞名、発行年月日を記入のうえレポートとして提出させた。字数の制限は設けていない。授業では、あらかじめ新聞記事を準備し授業中に解説した。また、新聞を全員に配布し、各自で新聞の中から社会福祉関係の記事をスクラップさせ、演習としてその記事を用いてワークシートに社会福祉の制度や施設・機関などを抜粋させ、その意味や役割を調べさせた。その後、記事についての感想・意見の記入及びグループ討議をさせた。授業回数が各15回あるうち、新聞を3回程度活用した。そのほかに宿題として、自由に学生に社会福祉関係の新聞記事を読ませ、記事の概要・感想やその記事を選んだ理由を1000字程度にレポートにまとめさせる課題を2回出した。なお、新聞は松井研究室前に置いていて、空き時間に学生が新聞を読むことができるようにしている。これらを保育学科1年生・総合生活学科2年生を対象に、それぞれの授業科目で実施した。

三重県のS医療福祉専門学校では、医療事務員養成のための学科として医療秘書科があり2年生の通年授業科目として「社会福祉概論」がある。前期に社会福祉の諸領域について学び、後期は新聞の中で社会福祉に関する記事をもとに学習した。後期は、毎回授業終了後、感想文を課した。

本研究は学生が、新聞についてどのような意識をもっているか、新聞に対して普段考えていること、また新聞を使つての授業に対する意見をアンケート調査し、まとめたものである。

III. アンケートの概要

新聞に対するアンケートは中国短期大学保育学科1年生学生128人及び総合生活学科2年生学生は調査対象学生46人に対しては平成24年7月に実施した。S医療福祉専門学校医療秘書科2年生生徒29人には平成25年1月に実施した。現在新聞を読んでいるかどうか、読んでいるのであればどのくらいの時間読んでいるのかを質問し

た。新聞記事を読まないならば、なぜ読まないのかその理由も問うた。また読んでいる新聞記事の種類、新聞に対する印象、新聞を利用した授業に対する意見・要望、どのような新聞であれば読むのかを質問した。設問項目はIVのQ 1～7の通りである(表1・2も参照)。アンケートの形式は末尾【資料】を参照のこと。

IV. アンケート調査の結果と3学科の比較

学生の新聞記事検索の指向を調査するため以下の質問(Q 1～7)をして回答を得た。

(Q 1～4の回答は表1を参照、Q 5～7の回答は表2を参照)

1 あなたは新聞を読みますか(Q 1)

3学科とも「殆ど読まない」が最多である。しかし、保育学科は毎日読むが2.3%いることに特徴がある。全く読まない者の割合も25.8%と最小である。保育学科・総合生活学科は「殆ど読まない」がそれぞれ41.4%と37.0%最多である。医療秘書科は「全く読まない」者の割合が37.9%と最多である。

2 「読む」「時々読む」と答えた学生でどのような記事を読んでいるか(Q 2)

保育学科は「新聞全体」「芸能・スポーツ欄」がともに15回答で最多であり、「地元のニュース欄」が11回答でそれに続く。総合生活学科では「新聞全体」が6回答・「芸能・スポーツ欄」が5回答であった。一方、医療秘書科は「芸能・スポーツ欄」が7回答で他を大きく引き離している。医療秘書科生徒は新聞を読む者についても、その読む内容は芸能・スポーツ欄中心であり新聞全体に及んでいない傾向がわかる。

3 学生の新聞を読むときの所要時間(Q 3)

保育学科・総合生活学科とも「10分未満」が最多であり、それぞれ73.4%・84.6%を占めている。しかし、保育学科では「1時間以上」・「30分以上1時間未満」もそれぞれ2.3%存在する。総合生活学科も「30分以上1時間未満」が2.3%いる。一方で、医療秘書科は有効回答としては「10分未満」が最多であり31.0%であるが「無回答」62.0%が目立つ。

4 「殆ど読まない」「全く読まない」学生の理由(Q 4)

保育学科では「読む時間がない」が27回答で最多であ

り、それに続いて「新聞に興味がない」24回答・「新聞は難しい」20回答と続く。総合生活学科は「新聞に興味がない」が11回答であり、それに続いて「読む時間がない」10回答・「新聞は難しい」6回答である。医療秘書科は「新聞に興味がない」が13回答であり、「読む時間がない」・「新聞は難しい」がともに6回答である。「新聞に興味がない」が最多を占めることは総合生活学科・医療秘書科に共通であるが、医療秘書科は「新聞に興味がない」が「読む時間がない」・「新聞は難しい」のともに2倍であることに特徴がある。

5 新聞に対する印象は(Q 5)

保育学科は、新聞に対して肯定的な印象を持っている回答が多くみられる。知りたいことが書かれている、社会の動きがわかる、ニュースを多く知ることができるなど内容面から評価すると同時に、自分自身の読解力・表現力を養うことにも新聞が有効であるととらえている。また保存が可能であるという記録性を挙げている者もいる。記事の内容の豊富さ、紙面構成の工夫に気付いている学生もいた。

総合生活学科2年もテレビなどによるリアルタイムの情報入手が必要であるという考えである。他方、同学科学生の回答の特徴として、新聞内容の豊富さを指摘し、かつ正確性・信憑性の観点から前向きな印象を持っていることを挙げることができる。

医療秘書科は難しい、文字が多い、漢字が読めない、白黒であるなど内容以前に難しさを感じている。こと細かく書いてあり見づらい、字が細かすぎて疲れる、目が疲れる、手がよごれる、など文字やレイアウトの部分ですでに拒否反応を示している。テレビのニュースの方が分かりやすい解説であるなど、目で追って考える習慣がついていない。毎日作成している人がスゴイ、会社によって書くものがちがうのでおもしろいなど、新聞の基本的な仕組みについてこの段階でやっと理解できたと考えられる回答もある。

各学科に共通して、新聞に対して注文も多く出ている。文字が多い、区切りが難しい、必要な記事の位置がわかりづらいなどであり、紙面構成にさらに工夫があれば読みやすくなると考えている。

6 新聞を使った授業を実施していく上での要望・意見(Q 6)

保育学科は、自分の好きな新聞社の新聞、興味のある記事を使いたいなどの要望がある。現在新聞を購読していないと考えられる回答も少なくない。この授業が新聞を読む機会になると考えている回答もある。総合生活学科は、授業におけるテーマが難しいのではないかの懸念があるほか、レポートの字数などを調整してほしいなど授業における課題に関心を有している。医療秘書科は、難しい、普段読まない、などという意見が中心であった。「新聞を使った授業はない方が良かった」「何のためにしたかあんまりわからなかった」という否定的な意見が目立つのもこの学科である。無記入7回答・なし3回答も多い。要望・意見を述べるまでの内容に達しなかったことが考えられる。一方で、新聞を読む良い機会になった、医療（医療費の窓口負担の意味）のことだけでなく他分野を知るきっかけになるなどの旨の意見もあった。各学科に共通して、授業については、新聞を読みたくなるような授業展開を希望する、わかりやすい内容や身近な内容を取り上げてほしい、また新聞記事に慣れるという意味を含め当初は興味のあるスポーツ記事や芸能記事も利用してほしい、という意見がある。

7 どのような新聞であれば読もうと思うか（Q7）

保育学科は、学科自体の特質から、保育所・幼稚園に関すること、子どもや高齢者など社会福祉問題を取り上げることが希望する学生が多い。新聞のサイズや見出しのあり方、写真やイラストの量など紙面に工夫を求める意見も多く出されている。総合生活学科は、短時間であっても読むことができるように要点をまとめているもの、学生が興味をひくものであれば読みたいと考えている。医療秘書科は、分かりやすい、芸能・スポーツ中心であることなどを求めている。各学科に共通する傾向として、アニメーション・芸能・スポーツ・ファッションに興味をもつ者が少なくないことが挙げられる。また、地元や故郷の記事、あるいは心温まる記事を増やしてほしいという要望もある。

V. 学科間の感想の対比

総合生活学科は訪問介護員資格（当時）を取得する目的もあり、高齢者介護や障害者福祉に関する記事が多い。大部分の学生が（広義の）福祉の記事を選択してい

る。いじめなど教育に関するものもあるが、児童福祉・教育・保育に関するものは全体に占める割合が小さい。保育学科との相違を示している。年金制度・外国人介護士など制度・政策に関する記事を選択している者は多くない。障害者の生活実態や音楽療法などより身近な話題に関心をもっている。医療秘書科は授業の中で教員が示した題材についての感想なので、題材選択に関しては傾向を見ることはできない。しかし、記載内容から内容や概念をつかむことが困難な層が浮かび上がる。例えば、「ものまねしてね、先生が2500億円を払ったらいいだけの話!!」、「脳ミソなくてツルツルなのであまり難しいことは考えたくない」、「先生とともに人生を歩んだら楽しい」、「今日は久しぶりに学校に来ました」など意味することについて理解不能の答えが少なくない⁽¹⁾。また、2年生後期からは研修名目で働いているので医療機関や薬局の窓口でのやり取りを念頭に回答しているものもある。福祉に関する科目が社会福祉概論1科目であるので、法令や社会福祉や社会保険についての制度面の理解がやや弱い。

VI. 考 察

各学科に共通して、新聞を読まない・ほとんど読まない学生が現在も6割を超えている。新聞を日常的に読んでいない学生が少なくなく、新聞がまだ学生にとって身近なものになっていない。「ほとんど読まない」・「まったく読まない」学生の理由は医療秘書科では、「新聞に興味がない」が最多である。また新聞を読む時間も10分未満が多く、まだまだ学生は新聞を読んでいない。とりわけ、学生の新聞を読むときの所要時間を尋ねたのに対し医療秘書科は62.0%が無回答であることが特徴的で、さらにこの無回答の意味するところは、「全く読まない」（即ち0分）である可能性が高い。また新聞を「読む」・「時々読む」と答えた学生も政治・経済欄の記事をほとんど読んでいない。短期大学保育学科・総合生活学科学生は、社会福祉や保育に関心を有しているものの、社会福祉・社会保障に限らず国の制度・政策に関する記事を学生はあまり読んでいない。幼児の生活や家族との関わり、芸術やスポーツなど保育内容、生活一般にかかわる記事に関心がある。所属学科の性質が影響していると考

えられる。社会福祉は、年金・医療・介護・子育て・生活保護など主に政治・経済欄に記事が掲載されている。今後どのようにすれば学生が政治・経済欄の記事を読むか、さらに検討しなければならない。新聞を使った授業を实践し、宿題・レポートなどを課しているが、現在のところが学生は受け身に学習に終わっている。同一世代であっても基本的な国語力・概念把握に課題を抱えている者も少なくなく学力もきわめて多様化している。教員が感想文を課すことについて、佐藤達全「保育科学生に対する作文指導の目的とその結果について—「日本語の表現法」と「保育者論」の授業を通して—」⁽²⁾は「授業以外の場で学習する習慣を定着させること、危機的な状況にある文章を書く力を少しでも高めること、自分で考えようとする気持ちや保育者としての専門職意識を持たせること等」を挙げている。感想文を書かせることの効果について、例えば金子泰子「短期大学での文章表現指導その2：短作文指導を通しての文章表現力の展開」⁽³⁾のように研究が積み重ねられている。しかし、その効果を測定することは容易ではない。同論文においても、「小・中・高段階とは異なり、言語能力に関してほぼ成人の域に達したと考えられる短大生であることもあり、(略)如実に発達を裏付けることは難しい」との指摘がなされている。社会福祉領域の授業における取り組みだけでは基本的な文章表現力・概念把握の向上は困難である。

社会福祉・社会保障を含め国の制度・政策に関する記事に注目する者は少ない。法制度や政治過程に対して大学教育等の中で目を向けさせることも課題となる。アンケート結果及び記事の感想を踏まえ、高等教育段階としての教育の中で、より良い新聞活用の実践を展開することが必要である。国家資格・公的資格取得のためには法令で学習内容が決められていて、その範囲での記事を学生に選択させなければならない。短期大学・専門学校においてはカリキュラムに占める社会科学の割合は概して少ない。社会福祉学や法学・政治学の科目において身近な話題から国際レベルまで豊富な素材の載っている新聞を授業で活用して制度・政策に対する理解を深めさせることが必要である。今まで以上に幅広く新聞を読ませ、記事を選択させる必要がある。このアンケート調査の結果を重視し、より良い新聞実践授業をこれからも展開していくことが重要であると考え。他方、感想の比較か

らは、本調査でとりあげた学生の中には概念把握や読解力に課題がある者も少なくないことが読み取れる。学力が極めて多様化していることを踏まえ、新聞内容の読解の前段階として基礎概念を把握させることにも注力すべきことを表していると考えられる。概念把握のためにも要約文・感想文など文章表現をさせる取り組みも欠かせないとする。

注

- (1) この回答は調査方法の問題よりも、生徒の学力・思考過程に起因していると考えられる。
- (2) 佐藤達全「保育科学生に対する作文指導の目的とその結果について—「日本語の表現法」と「保育者論」の授業を通して—」育英短期大学紀要第30号(2013) p95
- (3) 金子泰子「短期大学での文章表現指導その2：短作文指導を通しての文章表現力の展開」上田女子短期大学紀要12号(1989) p23-47

参 考 文 献

- ・金子泰子「短期大学での文章表現指導その2：短作文指導を通しての文章表現力の展開」上田女子短期大学紀要12号(1989)
- ・慶松勝太郎「我が国における作文教育の問題点」LEC会計大学院紀要第9号(2011)
- ・松崎史周「保育者養成短期大学における国語力育成のあり方」清泉女学院短期大学研究紀要第31号(2013)
- ・松井圭三・今井慶宗「福祉教育における保育学科学生の新聞記事検索の指向についての一考察」日本福祉図書文献研究第13号(2014)
- ・松井圭三・今井慶宗「教育課程における新聞活用—保育学科の福祉教育での学生の意識調査の一考察—」中国学園紀要第13号(2014)

表1：アンケート調査の結果 質問Q1～Q4の対比

Q1 あなたは新聞を読みますか

	保育学科	総合生活学科	医療秘書科
I 毎日読む	2.3%	0.0%	0.0%
II 時々読む	30.5%	32.6%	27.6%
III 殆ど読まない	41.4%	37.0%	34.5%
IV 全く読まない	25.8%	30.4%	37.9%

Q2 読む・時々読むと答えた学生でどのような記事を読んでいるか（複数回答）

	保育学科（128人中42人（32.8%））	総合生活学科（46人中15人（32.6%））	医療秘書科（29人中8人（27.6%））
I 新聞全体	15回答	6回答	1回答
II 政治・経済欄	2回答	0回答	0回答
III 家庭欄	6回答	3回答	1回答
IV 芸能・スポーツ欄	15回答	5回答	7回答
V 三面記事	3回答	3回答	2回答
VI 地元のニュース欄	11回答	3回答	1回答
VII その他（自由記述）	3回答	2回答	0回答

Q3 学生の新聞を読むときの所要時間

	保育学科	総合生活学科	医療秘書科
I 1時間以上	2.3%	0%	0%
II 30分以上1時間未満	2.3%	2.2%	0%
III 20分以上30分未満	11.0%	4.3%	3.5%
IV 10分以上20分未満	11.0%	8.7%	3.5%
V 10分未満	73.4%	84.6%	31.0%
無回答	-	-	62.0%

Q4 「ほとんど読まない」・「まったく読まない」学生の理由（複数回答）

	保育学科（128人中86人（67.2%））	総合生活学科（46人中31人（67.4%））	医療秘書科（29人中21人（72.4%））
I 新聞は難しい	20回答	6回答	6回答
II 読む時間がない	27回答	10回答	6回答
III 新聞に興味がない	24回答	11回答	13回答
IV その他（自由記述）	21回答	12回答	4回答

表2：アンケート調査の結果 質問Q5～Q7 いずれも回答を抄録・原文記載

1 中国短期大学総合生活学科2年生学生

Q5 新聞に対する印象は？（自由記述）

(1) 字が多くて難しい (19 回答) (2) 最近のニュースが読める (5 回答) (3) ニュースなら朝のテレビで見ているし、最近の番組表まで見ることができるから新聞にふれる機会が少ない (3 回答) (4) リアルタイムでない (5) テレビより、発信は遅いが正確性、信憑性が高い (6) 興味のある内容があまりない (7) 大まかに読むと内容を把握でき、読むことができた (8) 広告と記事の区別がつかない (9) 一面以外は読みにくい (10) 興味のある記事は読みやすいが、経済とかは難しく理解できない

Q6 これからも新聞を使った授業を実施するが、何か要望・意見があるか？

(1) 今までと同じでよいと思う (2) 社会福祉についてはどこまでですか (3) 新聞を取っていない人が多いので授業は好まない (4) 新聞を使ったレポートで1000字を書くのは大変なので、半分の500字程度がよい (5) 芸能記事を使用してほしい (6) 新聞を読んだりすると、読む力もつくし、今の世の中を知れるのでいい機会だと思う (7) 私たちが興味を持ちやすい親しみのある記事を使用してほしい (8) 新聞の大きさがでかい (9) 新聞のテーマが見つげにくい

Q7 どのような新聞であれば読もうと思うか？（自由記述）

(1) カラーで図・写真があればよい (19 回答) (2) わかりやすい記事 (4 回答) (3) 今まででよいので進んで読みたいと思う (4) 身近で考えやすい記事 (2 回答) (5) 若者向けの記事 (6) 芸能ニュースの記事 (7) 短時間読んでも要点だけはわかるような新聞 (8) アニメや子どもが読めるコーナーがあればよい (9) 冊子状の新聞 (10) 軍事に関する記事が多ければ興味を持ち、今以上に読む

2 中国短期大学保育学科1年生学生

Q5 新聞に対する印象は？（自由記述）

(1) 堅苦しく難しい (50 回答) (2) 文字が多い (11 回答) (3) 新聞はためになることばかり書いていると思った (7 回答) (4) 大きなニュースはテレビやラジオで確認できるため新聞は必要がない (5 回答) (5) 今の社会に詳しく述べていると思う (6 回答) (6) 隅々まで読んだら意外と面白い (7) 文章の区切りがわからない (3 回答) (8) あまり関心を持っていなかったが、ふれてみると面白い (2 回答) (9) 家に新聞がない (2 回答) (10) たくさんの記事から伝えたいことが書かれている

Q6 これからも新聞を使った授業を実施するが、何か要望・意見があるか？

(1) 新聞の良さを伝えたり、新聞って面白いなあ、読みたいなあと思える授業がよい (2) 新聞にあまり興味がない私たちにとって、よいきっかけだと思う (3) レポートだったら、今のやり方がいいと思いました (4) 今手元に新聞がないのですが、それでも大丈夫ですか (5) 1つの新聞だけでなく、いろいろな種類の新聞を見比べてみたいと思った (6) これからも新聞を使った授業をやってほしい (2 回答) (7) 山陽新聞が読みやすいと感じるので、山陽新聞を中心にしてほしい (8) 社会福祉のレポートですが、どんな記事でもいいとかにしてほしい (2 回答) (9) 自分の興味のある記事だったよ (2 回答) (10) 結構面白かった、お蔭で新聞を読む機会が増えた (2 回答)

Q7 どのような新聞であれば読もうと思うか？（自由記述）

(1) カラーで写真・イラストがたくさんある新聞 (24 回答) (2) 文字が大きく、読んでわかりやすく、理解しやすい記事 (20 回答) (3) スポーツ・芸能関係記事 (11 回答) (4) 楽しい、おもしろい記事を増やしてほしい (7 回答) (5) 子ども、保育関係記事 (14 回答) (6) 字と字の間に隙間があって見やすい記事 (3 回答) (7) スポーツの記事 (3 回答) (8) 地域のことが載っている新聞 (4 回答) (9) 若者向けの内容 (3 回答) (10) 何が言いたいのか、はっきりわかる新聞 (2 回答)

3 S 医療福祉専門学校医療秘書科2年生生徒

Q5 新聞に対する印象は？（自由記述）

(1) 新聞は固苦しいから読みたくない (2) 読みにくいが勉強になる (3) 難しい漢字・読めない漢字があるのであまり新聞を読まない。でもTVのニュースとかで簡単に説明してくれるので勉強になりました。(4) あったことをまとめて書いてあるのでいいと思う (5) 難しい言葉でかいてある。難しい内容のニュースばかり。(6) こと細かく書いてあり、たまに見づらいときもある。でもいろいろな情報をのせてくれていてためになることも多々ある。(7) すぐに理解できない事がある (8) 毎日作成している人がスゴイと思う。会社によって書くものがちがうのでおもしろいと思う。(9) 経済のことが多くて難しそう (10) 難しい

Q6 これからも新聞を使った授業を実施するが、何か要望・意見があるか？

(1) 難しい記事のことを書くことが多いので、新聞を使った授業はない方が良かったかなと思います (2) 難しそうなイメージ。やから苦手だと思ふ。(3) 何のためにしてたかあんまりわからなかった。後期は授業を1回もうけていないので、あまり授業の内容を覚えていない。(4) 難しい内容のものが多かったので、私たちの身近に感じる記事でも授業を受けてみたいです (5) 無記入7回答 (6) なし3回答 (7) 普段見ないところを見るのでいいと思う (8) 普段読まないのだから知らないことを読めて面白いと思う (9) 普段まったく新聞を読まないのだからこういった機会に読めるので勉強になりました (10) 普段見慣れない記事でおもしろかった。先生の意見をもっと聞かせてほしかったです

Q7 どのような新聞であれば読もうと思うか？（自由記述）

(1) 無回答4回答 (2) 気になったニュースの詳細が知りたい時や、見出しを見て気になった時 (3) もっと楽しい話題も載せてもらえば読もうと思います (4) もっとわかりやすい言葉で、興味のある記事なら読もうと思う気がする (5) カラフルで写真とかもっとあってほしいかな!? (6) 楽しくて明るい記事であれば (7) テレビ欄に限る!!楽しくないと興味がない (8) もっとわかりやすく書いてくれたら読もうと思う (9) 芸能など自分の興味のあることがたくさん載っている新聞 (10) 芸能系が多かったら読みたい

【資料】アンケートの形式

1. あなたは新聞を読みますか。○をつけて下さい。
 - I 毎日読む
 - II 時々読む
 - III ほとんど読まない
 - IV 全く読まない
2. 「I 毎日読む」・「II 時々読む」に○をつけた人に聞きます。新聞のどのような記事を読みますか。○をつけて下さい。(複数回答)
 - I 新聞全体
 - II 政治・経済欄
 - III 家庭欄
 - IV 芸能・スポーツ欄
 - V 三面記事
 - VI 地元のニュース欄
 - VII その他()
3. 新聞を読む時間についてお聞きします。○をつけて下さい。
 - I 1時間以上
 - II 30分以上1時間未満
 - III 20分以上30分未満
 - IV 10分以上20分未満
 - V 10分未満
4. 「III ほとんど読まない」・「IV 全く読まない」に○をつけた人に聞きます。読まない理由に○をつけて下さい。(複数回答可)
 - I 新聞は難しい
 - II 読む時間がない
 - III 新聞に興味がない
 - IV その他(自由記述)
5. 自由記述…新聞に対する印象を記述して下さい。
6. 新聞を使った授業を実施したことについて、要望・意見はありますか。自由に記述して下さい。
7. どのような新聞であれば、あなたは読もうと思いませんか。自由に記述して下さい。

